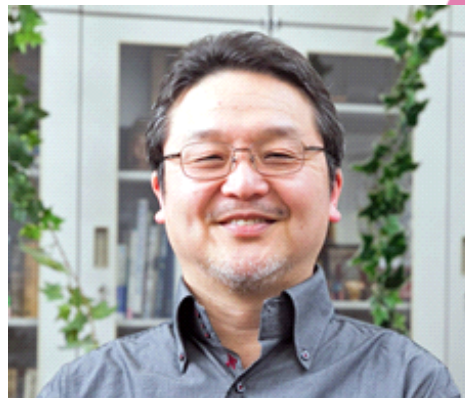




## Ambitious 物質科学セミナー

# 新しい分光計測の開発と 応用による複雑分子系の 研究



2013-2017 新学術領域研究「柔らかな分子系」領域代表;  
日本 IBM 科学賞, 日本学術振興会賞, 日本化学会学術賞,  
日本分光学会賞 他受賞; *J. Chem. Phys.*, *Chem. Phys.*,  
*J. Phys. Chem.*各誌国際編集委員, 国際ラマン分光国際会  
議委員, 分子科学会会長 など

**田原 太平 氏**

理化学研究所・田原分子分光研究室 主任研究員

**令和元年 10月24日(木) 16:30~18:00**

**北海道大学 理学部 7号館 310室**

物理学の素粒子や原子核を研究する分野を除き、現在、ほとんどの自然科学の研究は分子の振る舞いを解き明かそうとしている。その意味で分子科学はそれらの基礎として研究対象を複雑系に向け大きく広げている。分子科学の中にも様々な要素があるが、計測に基づく分子科学はその根幹の一つである。百聞は一見にしかずの言葉があるように観測は科学・技術の基本であり、歴史を振り返っても、新しい観測法や技術の開発によって新しい現象が観測できるようになった時に、科学は飛躍的に進歩してきた。私はこれを強く意識して、既存の方法を応用するのではなく、新しい分光計測法を開発し、それによって複雑な分子系の基本的問題について研究を進めてきた。講演では共同研究者とともに開発した超高速分光、界面選択的非線形分光、一分子分光の新しい方法によってどのようなものが「観える」ようになったかを説明し、それによって新たに私が抱くようになった問題意識について議論したい。

協賛：総合化学院・フロンティア化学教育研究センター・  
日本化学会北海道支部・電気化学会北海道支部

連絡先：北海道大学大学院理学研究院化学部門 村越 敬  
(Tel: 011-706-2704, Mail: kei@sci.hokudai.ac.jp)